

農業で人生を豊かに

〜月山高原での新たな挑戦〜

「ベジパレット」という名前で活動している
高田庄平さん(右)、耕作さん(左)兄弟。

農業をするなら庄内にならえ

鶴岡市羽黒地域、月山高原で農業に取り組んでいる高田庄平さん。東京で就職後、会社員ではできない時間の使い方、生き方について考えるようになり鶴岡にUターン。自ら栽培した作物を販売する「ベジパレット」を立ち上げ、活動している。

庄平さんは、にんじんやアスパラガスなど、9つの作物を栽培している。農業を身近に感じ、触れてほしいという思いで、それらの作物を活用して、ユニークな農業イベントを開催したり、SNSを使って農業の情報を発信している。農業は「食べたり、体験したりすることで、人々の人生を豊かにできるもの」と話す庄平さん。自分だけでなく、周りの人も一緒に幸せになれる魅力的な農業を確立し、農業をするなら庄内にならえと言われるような農業を目指している。

地域課題の解決 “耕作放棄地の解消”

月山高原は赤土で石が多いため栽培が難しく、鳥獣害も多いことから耕作放棄地が増えていた。庄平さんはその課題を解決するため、耕作放棄地を再生し栽培に取り組んでいる。栽培条件が厳しい土地で農業に取り組む理由は、「そこでしか作れないものがあるから」。耕作放棄地を農地としてまとめて借りたり、豪雪地域である月山高原の特色を活かして「雪室にんじん」を栽培したりと、一般的にはデメリットと考えることをメリットと捉え、発想が前向きだ。「日々課題は変わっていく。今目指すべきものは未来の自分では古いものとなっているかもしれない。具体的な目標は置かず、目の前のことに全力で取り組んでいきたい」と話した。

「農業イベント」で地域に活力を！

庄平さんは、地域で楽しめる場所を提供しようと作物の収穫体験や農園を利用したイベントを行っている。2019年7月には月山高原の耕作放棄地だった場所を巨大なトウモロコシ迷路に生まれ変わらせた。県内外から4千人もの人々が訪れ、子供から大人まで自然との触れあいを楽しんだ。

加工するものほど品質の良いものを

需要があり、周りに喜んでもらえるという理由から始めたにんじん作り。健康に育ったものほど、まっすぐ育ち美味しくなるという。そんなににんじんを使った月山高原育ちのにんじんジュース。加工するものほど品質の良いものを厳選して作っている。



月山高原に広さ60aもの巨大迷路が出現。
トウモロコシは高さ2m以上でなかなかゴールが難しい。



←にんじん嫌いな子供でも美味しく飲めるにんじんジュース。臭みがなく、まろやかな味わい。

YouTube で発信！
納得して商品を買ってもらうために

庄平さんは、農業に関心のない人に農業について考えてもらい、知識、理解を深めてもらいたいという思いから、YouTubeで自身の農業について紹介している。動画では、畑を耕すところから、栽培、収穫、出荷、店頭で並ぶまでの一連の流れを公開。「YouTubeを見た人が、自分の農業に共感し、納得して商品を買ってもらいたい」と考えている。

YouTubeチャンネル
「VEGEPALETTE ベジパレット」



<お問い合わせ>

ベジパレット : VEGEPALETTE
HP <https://www.vegepalette.com/>
YouTubeチャンネル VEGEPALETTE ベジパレット
<https://www.youtube.com/user/Vegepalette>

YouTube QRコード

